

みなみそうま 市議会だより

令和3年
2月1日発行

Vol.60

発行：南相馬市議会 編集：広報特別委員会 ☎24-5311



北原海岸の日の出

議長・副議長あいさつ	2頁
新たな議会構成	3~4頁
12月定例会の審査	5~7頁
決算審査特別委員会報告・台風第19号等災害復旧調査特別委員会報告	8頁
一般質問	9~14頁
常任委員会閉会中調査、3か月間の議会活動	15頁
3月定例会の日程、議会傍聴記、編集後記	16頁



初めての 議会傍聴雑感

(みなみ地区福祉委員会
委員長 門馬 忠昭)

12月4日、一般質問本会議を、みなみ地区福祉委員会の会員十名と傍聴しました。

例年のこの時期は、ひばり生涯学習センターを借りて「幸齢者の集い」を企画運営しているところでしたが、今年はコロナ汚染で幸齢者を汚染の中に晒す訳にはいかないので中止としました。会員にも時間的にゆとりが出来ましたので、市議会を傍聴し市政への関心度向上につなげたいと考えました。

着座して間もなくブザーと共に一般質問が始まりました。議員から「事業構築について」と「災害に強いまちづくりについて」と題して約1時間に渡って市長及び市の幹部との質疑応答が展開されました。

先ず検討中の事業についての進捗度は、余り捗捗しい状況ではない印象を受けました。

課題解決のために検討すると表現すれば、解決したような錯覚に陥ります。質問事項の中に「検討の手順について」とありますが、まさに手順に沿って早く課題解決して欲しいと思いました。

市政に課題は山積しているものと推測されます。検討するというプールに押し込む事を禁止して、早急に改善して欲しいと思います。

3月の定例会（予定）

- 3月3日(水)
本会議…会議録署名議員の指名・会期の決定・諸般の報告・議案の提出及び説明
- 3月8日(月)・9日(火)・10日(水)
本会議…一般質問
- 3月15日(月)
本会議…議案に対する質疑、委員会付託
- 3月16日(火)・17日(水)・18日(木)
常任委員会…総務生活、文教福祉、建設経済
- 3月25日(木)
本会議…委員長報告（質疑、討論、表決）

※この日程は変更されることがあります。
議会を傍聴する際には、日程をご確認下さい。

●問い合わせ…議会事務局 ☎24-5311

市議会ホームページ・議会インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録（本会議）などを掲載していますので、ご覧ください。

また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信（本議会のおおむね5日後）でご覧いただけます。あわせてご覧ください。

下記のアドレスから市議会へアクセスしてみてください。
南相馬市ホームページ
<http://www.city.minamisoma.lg.jp/>

○請願・陳情の提出をされる方へ：次回の3月定例会においては、2月24日(水)午後4時までに提出してください。

おわびと訂正

市議会だよりVol.59号（令和2年11月1日号）中、3ページの新型コロナウイルス対策事業その2「感染症対策事業の○介護慰労金給付事業（高松ホーム）」の事業費、7ページの「賛否が分かれた審査」の「令和2年度南相馬市一般会計補正予算に対する修正案」に係る反対賛成討論の表記に誤りがありましたので、おわびして訂正いたします。

・3ページ1段目	○介護慰労金給付事業（高松ホーム）	(誤) 1千800万円
・7ページ3段目	(誤) 反対討論	(正) 賛成討論
・7ページ5段目	(誤) 賛成討論	(正) 反対討論

編集後記

昨年を振り返ると新型コロナウイルス感染症の影響により、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ多くの催しや行事が開催延期・中止となりました。

4月に発出された緊急事態宣言以降、精神的・経済的影響を受けた工商业者など全ての皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、医療従事者をはじめとする、エッセンシャルワーカーの皆様に厚く御礼申し上げます。

今回の年末年始は、例年とは違った過ごし方をされた方も多く居られたかと思えます。新年を迎えてからも成人式の延長などまだまだ影響が続いておりませんが、昨年12月に予防接種法改正案が成立し、2月下旬には医療従事者からワクチン接種を始め、春頃からは国民の皆様にも供給できる準備を進めておりますので、その効果を期待するとともに1日も早い終息を願います。

マスク着用、手洗い・手指消毒、3密回避、感染リスクが高まる場面での注意、適度な換気と湿度の確保に努め、この困難を力を合わせて乗り越えましょう。

大場 裕朗

今年の干支は「丑」地道に一步



議長
中川 庄一

令和3年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
南相馬市議会は2年毎に役職を交代するとの申し合わせがあり、この度、私が市議会議長に推挙頂き、第10代議長に就任いたしました。その責務の重さに身の引き締まる思いであります。議長職をしっかりと引き継ぎ、公平、中立を旨とし、議会運営に努力して参ります。

今年で東日本大震災から10年を迎えようとしております。南相馬市の再興に向け一歩一歩前進して参りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済が大きな打撃を受けており、再生しなければなりません。議会も一丸となり尽力して参ります。本年は延期となっております東京オリンピック・パラリンピックの開催、本市のロボットフェスティバルを会場にワールドロボットサミットの開催を予定しており、再生への起爆剤になると信じております。

就任時の挨拶の中で市民の方々に信頼される議会、市民の方々の目線に立った議会と申し上げました。市民の皆様方の意見等を吸い上げながら議会に反映して参ります。昨年の世相を漢字一文字で表現する漢字は「密」でした。世界中が新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けた一年となり、三密という言葉が提唱され、生活、行動様式が「密」にならないよう意識し続けました。市民の皆様には、今後とも一人ひとりが意識をもって行動されますようお願い申し上げます。

今年の干支は「丑」です。農作業を地道に手伝てくれることから、発展の前触れを表す年です。明けない夜はありません。地道に進むことで発展への年にしていきたいと思っております。
結びになりますが、市民・行政・議会が一体となつてこそ、困難を乗り越え再生できると確信しております。南相馬市議会は全集中で市民の幸福のため、尽力して参る所存でございます。市民の皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新型コロナウイルスを克服し明るい未来へ



副議長
田中 一正

新春を迎え、市民の皆様におかれましては、本年が幸多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。
この度の改選期に当たり、副議長の重責を仰せつかりましたが、議長を補佐し、南相馬市議会が引き続き多くの課題解決に向け、順調に機能運営できますよう全力を注いでいく覚悟です。

一昨年末、中国武漢から発生した新型コロナウイルスは瞬く間に全世界に感染が拡大してしまいました。現在、世界各国では感染が留まることなく、大変な毎日が続いております。日本でも感染の第3波が押し寄せ、連日、感染者数増加の報道がされています。東京都を初めとする11都府県では非常事態宣言が出され、福島県でもこれまでにない危機感から、緊急対策が宣言されています。

このような中、明るい話題として、各国で新型コロナウイルスワクチンが開発され、接種が始まっている様子が報道されております。日本でもワクチンが入荷し、接種が始まれば徐々に感染が収まっていくものと思っております。

感染拡大の最中、私たちにはできる限りの協力が求められています。不要不急の外出や三密を避け、「新型コロナウイルスに移らない、移さない」ための感染阻止に精一杯、頑張っていかなければなりません。

十年前の東日本大震災の時を思い出してください。私たちは、国内はもとより世界の人々の暖かい支援に励まされ、復興してきました。互いの絆を深めながら、震災を乗り越えてきました。人と人との絆は何よりも強いものがあります。全ての市民、国民が力を出し合い、新型コロナウイルスを封じ込めるために力を合わせれば感染は収束していくものと思っております。

その克服の証として「イノベーションイノベーション」を迎え入れたいものです。そして、さらなる復興のレールに乗るために南相馬市議会も一丸となって頑張つて参りますので、本年もよろしくようお願い申し上げます。

新たな議会構成 (令和2年11月30日現在)

◎は委員長、○は副委員長です。

建設経済常任委員会 7人

所管：経済部、建設部及び農業委員会の所管に属する事項



(後列右から) 田中 京子、山田 雅彦、大岩 常男
(前列右から) 田中 一正、栗村 文夫、渡部 一夫、鈴木 昌一

総務生活常任委員会 7人

所管：議会、総務部、復興企画部、市民生活部、会計課、選挙管理委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項



(後列右から) 大山 弘一、細田 廣、大場 裕朗
(前列右から) 平田 武、高橋 真、小川 尚一、渡部 寛一

議会運営委員会 8人

所管：議会の運営が円滑に行なわれるように議会の進め方などを協議し、議長の諮問について調査



(後列右から) 細田 廣、今村 裕、渡部 一夫、太田 淳一
(前列右から) 平田 武、岡崎 義典、渡部 寛一、小川 尚一

文教福祉常任委員会 7人

所管：健康福祉部、子ども未来部、教育委員会、総合病院の所管に属する事項



(後列右から) 岡崎 義典、今村 裕、菊地 洋一
(前列右から) 志賀 稔宗、鈴木 貞正、太田 淳一、竹野 光雄

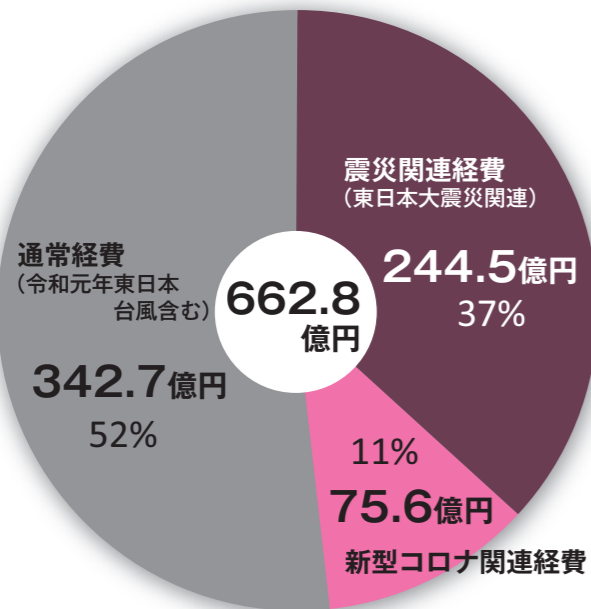
令和2年 12月議会

12月議会は、11月30日から12月16日までの17日間開催され、議案41件（条例関係10件、予算関係9件、その他22件）、報告1件を審査し、原案通り可決しました。

令和2年度 南相馬市一般会計補正予算の概要

復興・再生に向け、直面する課題への対応や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応など、緊急に対応を要する予算を計上するとともに、福島県人事委員会勧告に準じ職員給与改定等人員費の補正を行ったもの。

定例会



一般会計補正予算額

2億906万円

令和2年度一般会計予算規模

662億8,158万円

条例審査

南相馬市東日本大震災による津波被災者に対する固定資産税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について

概要 令和3年度の津波被災区域における固定資産税の負担軽減を図る。

質疑 「復旧し使用可能となった土地または家屋」ということについて、既に使用している土地、家屋も含めて減免なのか。

答弁 使用可能になったもの及び、現に使用されているものも見ている。全額減免対象になるのは使用できないものである。

質疑 来年は評価替えも行われるが、その際この減免による影響額はどのくらいになると見込んでいるか。

答弁 令和3年度の減免の見込み額は、土地は現段階で1万2千80筆、減免見込み額については1千824万4千円を見込んで



介護の様子

質疑 看護師等修学資金貸付金の返還免除の対象に、新たに介護事業所及び障がい福祉事業所が追加されている。今回の拡充は市独自の考えによるものなのか。または国・県からの指

概要 南相馬市みらい育成修学資金条例の一部を改正する条例制定について

概要 看護師等修学資金貸付金の返還免除とする勤務先に介護事業所及び障がい福祉事業所を加える。

いる。家屋については90棟、97万8千円を見込んでいる。審査の結果、原案の通り可決。

新たな議会構成

特別委員会

東日本大震災・原子力災害復旧復興調査特別委員会

【目的】 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による原子力災害とその対策に関する調査・研究を通じ、本市の復旧・復興に資する。

【委員長】 志賀 稔宗
【副委員長】 田中 京子

正副議長を除く全議員で構成されています。

議会改革検討特別委員会

【目的】 議会の運営及び情報公開・発信等に関する調査・研究を通じ、本市議会の活性化に資する。

【委員長】 小川 尚一
【副委員長】 太田 淳一

高橋 真
栗村 文夫
岡崎 義典
渡部 一夫

新庁舎建設特別委員会

【目的】 新庁舎建設に関する調査を通じ、新庁舎建設に対して議会の積極的かつ機動的な関与に資する。

【委員長】 渡部 一夫
【副委員長】 田中 京子

菊地 洋一
大岩 常男
岡崎 義典
大山 弘一
鈴木 貞正
渡部 寛一
平田 武

広報特別委員会

【目的】 議会広報の発行を通じ議会に対する理解と関心を深め、市政進展に寄与する。

【委員長】 岡崎 義典
【副委員長】 菊地 洋一

大場 裕朗
栗村 文夫
大岩 常男
小川 尚一

その他

監査委員

【目的】 南相馬市の財務や事業について監査を行う。

鈴木 昌一

相馬地方広域市町村圏組合議会議員

【目的】 消防、看護専門学校の設置及び管理運営、ごみ処理の広域化、救急医療対策事業にかかる補助金、地域振興事業に関する事務。これらを共同処理する広域市町村圏組合に係る条例の制定・改廃、予算の決定、決算の認定などを行う。

田中 京子
竹野 光雄
渡部 寛一
平田 武

相馬地方広域水道企業団議会議員

【目的】 相馬市、新地町、南相馬市鹿島区で構成する水道事業の一部事務組合に係る条例

例の制定・改廃、予算の決定、決算の認定などを行う。

細田 廣
鈴木 貞正

南相馬市都市計画審議会委員

【目的】 都市計画行政の円滑な運営を図る。

岡崎 義典
太田 淳一
鈴木 貞正

南相馬市民生委員推薦会委員

【目的】 民生委員を推薦する推薦会。

太田 淳一
竹野 光雄

導があったのか。

【答弁】 令和元年度に2

回、市長と介護事業所との懇談会を行った。その中で、事業所から返還免除の対象に介護事業所も入れてほしいという要望があり、その後、病院や介護事業者等との協議の結果、今回の条例改正に至った。審査の結果、原案の通り可決。

予算審査

一般会計予算

歳出のうち人件費

【質疑】 給料改定について、最近のラスパイレス指数が大体94%という低い水準について伺う。

【答弁】 県内13市の中でも一番低いような状況になっている。復旧・復興関連事業を推進するために、不足するマンパワーを補うための任期付職員の採用が要因で、除いた場合は98.4%と100%に近い。

防災情報発信強化事業

4千915万円

【主な内容】

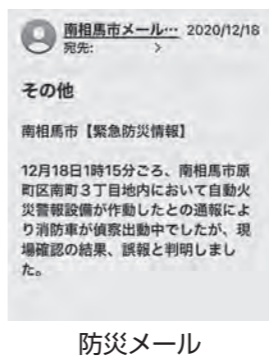
防災メール、防災行政無線個別受信機の登録・普及を徹底するとともに、新たに緊急速報メールを導入する。

【質疑】

防災無線が聞き取れないとか誤解など二次的な齟齬がある可能性もあるので、今後は重要なライフラインになる携帯電話にシフトしていくのか伺う。

【答弁】

市民は携帯電話などを持っているので、防災メールを主として防災情報の発信について考えている。



防災メール

出産育児応援特別給付金支給事業

3千590万円

【主な内容】

国の定額給付金の対象外となった子どもと、3人以上の多子世帯に対して給付金を支給する。



小高交流センター

【質疑】

所得制限を設けず一律に支給することだが、より困っている方を助ける必要があるという観点から、一律よりも困っている方に更に手厚い支援のほうが良いのではないかと。

【答弁】

一律10万円の特別定額給付金自体が、全国民に対して所得に関係なく支給したという前提があり、市として新生児に関しても同じように支給すると判断した。

【質疑】

事業の趣旨として、「食費や学校外教育費・活動費等の負担が大きい」とあるが、事業構築にあたり、

り、実際に子どもを持つ保護者への調査を行ったのか。

【答弁】 本市独自の実態調査は行っていない。内閣府が行った子育て費用に関する調査結果によると、0歳児1人当たりの食費が11万1千円程度であったことから、この結果を当てはめ10万円とした。

道路維持管理費

926万円

【質疑】

補正予算では24か所の修繕への対応となっている。この事業は、毎年多くの要望件数が上がっており、どのような考えで対応しているのか伺う。

【答弁】

要望に対する対応だが、行政区長からの要望や市民からの通報、そのほかに担当課の職員自ら行っているパトロールで見つけた箇所がある。その中で、通行上危険が及ぶのではないかとこのを1番に考えている。それが早急に対応できなくても、第1段階としてはバリケードを張る、赤色灯を付けて事故を未然に防ぐことを最優先に考え

て対応している。審査の結果、原案の通り可決。

その他

南相馬市工業用水道事業会計

▲3万3千円

【質疑】

工業用水の安定供給について、昨年の台風被害で国からの指導なども受けている。今年利用者と協定を結び「台風がくる際にはあらかじめ放水し、蓄えている水の量を調整し大雨に備えたい」ということだが、利用者に対する影響と安定的に供給するため、どのようなことを考えているのか伺う。

【答弁】

ダム管理側との事務調整等を行い、12月末で貯水率75%近辺といった管理目標を定めながら、渇水等の事象を起こさないように、もしくは減ってきたときは適切に対応していくことを確認しながら、管理運用に努めている。審査の結果、原案の通り可決。

人事関係

○固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて

海老沼四郎(鹿島区)再任
半谷 文人(原町区)再任
平間 廣(原町区)再任

陳情・請願

横断歩道設置に関する請願書

【請願内容】

国見町三丁目と本陣前二丁目の境目のT字路への横断歩道設置を求めるもの。

【請願者氏名】

南相馬市立原町第三小学校PTA会長 青田 圭太
審査の結果、採択。

真野川ふ化場及び周辺環境整備に関する陳情書

【陳情内容】

真野川ふ化場等の整備を求めもの。

【陳情者氏名】

真野川鮭増殖組合長理事 紺野 広顕
9月定例会で陳情が提出

されたものの、陳情者から撤回の申し出があり、撤回を承認。

委員会・議員提出議案

東日本大震災・原子力災害復旧復興調査特別委員会の設置期間の延長について

【提案理由】

設置期間を令和4年11月30日までとするもの。審査の結果、原案の通り可決。

【提案理由】

広報特別委員会の設置期間の延長について

【提案理由】

設置期間を令和4年11月30日までとするもの。審査の結果、原案の通り可決。

【提案理由】

議会改革検討特別委員会の設置期間の延長について

【提案理由】

設置期間を令和4年11月30日までとするもの。審査の結果、原案の通り可決。

可決。

新庁舎建設特別委員会の設置期間の延長について

【提案理由】

設置期間を令和4年11月30日までとするもの。審査の結果、原案の通り可決。

【提案理由】

南相馬市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

【提案理由】

オンラインを活用した会議の開催を可能とするもの。審査の結果、原案の通り可決。

【提案理由】

南相馬市議会会議規則の一部を改正する規則制定について

【提案理由】

表決に係る規定を整理して、表決方法に挙手表決を加えるもの。審査の結果、原案の通り可決。

○公の施設に係る指定管理者の指定について

指定管理者を指定するため提案され、議決された公の施設一覧

施設の名称	指定管理者の名称	指定期間
南相馬市小高区内 スポーツ5施設	浮舟うきうきクラブ 会長 菅野 精一	令和3年4月1日から 令和8年3月31日まで
南相馬市鹿島区内 スポーツ7施設	特定非営利活動法人 かしま元気スポーツクラブ 理事長 但野 裕	
南相馬市原町区内 スポーツ12施設	太田大甕スポーツクラブ 会長 西 祥一	
南相馬市馬事公苑	特定非営利活動法人 はらまち交流サポートセンター 代表理事 門馬 浩二	令和3年4月1日から 令和5年3月31日まで
南相馬市パークゴルフ場	株式会社 東武 代表取締役社長 中島 照夫	
小高区子どもの遊び場	株式会社 フクシ・エンタープライズ 代表取締役 福士 昌	
南相馬市健康づくり トレーニングセンター	小林建設工業 有限会社 代表取締役 小林 将嗣	

決算審査特別委員会報告

委員長 細田 廣

令和元年度南相馬市一般会計歳入歳出決算認定について

質疑 令和元年度決算までの通常事業の3区の内訳は。

答弁 通常事業累計額526億円の内訳は、小高区が約91億円、鹿島区が約102億円、原町区が約334億円となっている。概ね小高区2、鹿島区2、原町区6の割合になっている。

質疑 臨時財政対策債の残高は、市債残高全体に対し、42%という高い割合だが。

答弁 臨時財政対策債は、後年度普通交付税で全額措置される地方債であり、有効に活用していきたい。 **質疑** ふるさと応援寄附金協働のまちづくり事業助成金において、一般管理費は助成金等から賄うような内容ではないと思うが。

答弁 審査会を開催し、一般経費、共通経費として認める判断をした。

質疑 監査委員から角川原総合研修センターの改修工事は、農業振興費に符合する経費とは認めたいとされているが、対応はどのように。

答弁 所有は農政課であり、予算提案時点では問題ないものと考えていた。

質疑 中学生海外研修事業において、中学生2年生全員対象の修学旅行の位置づけと考えているのか。

答弁 様々な課題もあり、修学旅行での実施は非常に難しいと考えている。 **質疑** 様々な課題もあり、修学旅行での実施は非常に難しいと考えている。 **答弁** 様々な課題もあり、修学旅行での実施は非常に難しいと考えている。

令和元年度南相馬市病院事業会計決算認定について

質疑 入院患者数は増えているが、料金収入が下がっている理由は。

答弁 入院患者を繰り返す患者の受け入れ等が多くあったことや診療単価が下がったことによるもの。

質疑 この決算を踏まえ、予算の組み方が適切と捉えているか。

答弁 業務量の増減傾向の予測のもとに見積もりを行うよう努めている。 **質疑** 審査の結果、認定すべきであると決まりました。



議員控室と議場を活用したリモート審査の様子

台風第19号等災害復旧調査特別委員会報告

委員長 志賀 稔宗

本委員会は、令和元年台風第19号等の大雨災害による被害とその対策に関する調査・研究を通じ、本市の復旧に資することを目的として、令和元年12月に設置され、各種の取組を行ってまいりました。

具体的取組としては、まず令和2年1月に台風第19号等の被害について全体概要及び施設ごとの報告を受け、今後の対応等について質疑を行い、現状の把握を行いました。

次に、令和2年2月に被災箇所現地調査として、鹿島区柗窪地区、原町区高倉地区、小高区金谷地区の現地視察を行いました。

令和2年4月には、調査活動を踏まえ、知事に対し、河川や道路の早期復旧、河川内の堆積土砂の早期撤去及び平時における維持管理の徹底、高倉ダム、横川ダムにおける洪水に備えた事前放流などの洪水調節機能強化の実施、災害復旧事業に対する財政支援等について要望活動を行いました。

令和2年8月には、高倉ダム、横川ダムの洪水調節機能強化推進として、事前放流等の実施に係る治水協定が市、県、関係機関との間で締結され、さらに真野ダムにおいても同様の協定が県と相馬地方広域水道企業団、関係機関との間で締結されたことから、活動の一定の成果が得られたところです。

しかしながら、被災箇所災害復旧工事は未だ完了しておらず、さらに、再度



台風第19号被災地の視察

川内の堆積土砂の早期撤去及び平時における維持管理の徹底、高倉ダム、横川ダムにおける洪水に備えた事前放流などの洪水調節機能強化の実施、災害復旧事業に対する財政支援等について要望活動を行いました。

本委員会は令和2年11月30日で終了となりましたが、市民の皆様の生命と財産、安全・安心な生活を守るため、今後も常任委員会や各議員の活動において、災害復旧工事の進捗や防災・減災に向けた各種の取組等を注視し、改善提案、要望等を行ってまいります。

一般質問 一問一答



田中 京子 議員

公共施設のトイレの洋式化について

問 市民が住みやすいまちづくりにおいて公共施設のトイレの洋式化は必要不可欠と考えます。市内におけるトイレの洋式化の必要性について伺う。

答 公共施設のトイレの洋式化については、約9割の施設に設置している。洋式の割合は全体の約8割となっている。一般家庭のトイレの洋式化が進んでいる中では、公共施設のトイレの洋式化も必要なものとして捉えており、これまでも市役所1階や学校の洋式化を進めてきたところである。今後につきましても、利用状況等を勘案しながら必要な施設における洋式化の推進に努めていく考え。

市長の政治姿勢について

問 市民の方から火葬場斎場のトイレが洋式化されていない箇所があり、洋式にとの声がありました。行政としても気づいていない点もあるようだが、この辺について、どのような考えか伺う。

答 市民の皆様から寄せ頂いた御意見の部分につきましても、十分考えて対応していくべきであらうと考えており、今後についてもそのような声を拾いながら、ハード整備においては検討させていただくように思います。市の方針では市民の立場に立った対応ができるよう進めていく考えである。



洋式化されたトイレ (磐城太田駅)

質問を終えて
行政と市民との両輪で共に協力し、「住みやすいまちづくり」を目指しましょう。

- ① 移住者の拡大と支援の取り組み方は
- ② 指定管理者制度の今後の取り組み方は



志賀 稔宗 議員

小高に国際教育研究拠点誘致を

問 国際教育研究拠点は産業創出の研究開発人材育成の中核としてイノベーションの司令塔機能を有する重要施設。本市は浜通りの中核的都市として都市基盤が整いロボットテストフィールド、産業技術校が整備されており、最適地と考える。また5年に及ぶ避難指示で惨たんたる状況にある小高区の再生に絶好の起爆剤となる。本市の立地妥当性について効果的情報発信に努める等不転の決意で誘致を進めるべきと考えるが取組みの進捗を伺う。

答 福島県、東北の復興に一番効果があり、かつ研究フィールドの設定も含め研究者が研究しやすい場所にするべきと考える。避難指示の出された場所、駅の近くとの視点を踏ま



ドローンの実証実験 (NEDO 提供)

問 マスク着用、手指の消毒、三密を避ける等新型コロナウイルス感染症防止に努めるも本市の罹患率は低くない状況にある。対策の徹底と感染者や医療関係者等への不当な偏見や差別を防止するため条例制定が有効と考えるが見解は。

答 感染防止対策の情報提供や注意喚起についてウイリスの実態がわかるにつれ内容も変化。当面市長メッセージ等活用して臨機応変に呼びかけを行なう。

質問を終えて
国際教育研究拠点はロボット等との相乗効果により成果最大限に。南相馬の協力が不可欠だ。

- ① 成人式に関する徹底した感染防止対策
- ② 保育園等にコロナ慰労金支給と人材確保
- ③ 小高区大富地区での除去土壌再生利用



小川 尚一 議員

令和3年度の行政経営方針が示されたことから、出生数の推移で、平成24年の震災の翌年321人を、令和元年は2年連続で割り込んでいる状況をどう捉えているのか伺う。

出生数の減少は、本市において危機的な状況だが、出生数増加にどう取り組むか伺う。

赤ちゃんが生まれてくることは、未来の希望そのもので、極めて重要である。出生数回復には、長期的で切れ目ない取組が必要

【南相馬市の出生数推移】



で、令和3年度重点的な取組として「若い世代の定住と、子どもと家庭を大切にしている。産業政策等に加えて、令和3年度は新たな、男女の出会いの場の推進、更に「妊娠から子育てまで安心して産み育てられる支援」に取り組む。

財政調整基金について、令和6年度には枯渇するとの見込みがあり、これまでのばら撒き行政のツケと思われるが、反

持続可能な行政経営と環境について

省と改善策を伺う。

平成28年度末の46.4億円をピークに、令和元年度末は37.9億円である。中期財政収支の見通しを試算し、4年後の令和6年度末には財政調整基金が枯渇するという厳しい状況が見込まれると試算した。

質問を終えて
入るをもって出を制すは、財政の基本。公約でも、出来ないという勇気を。

- ① その他の質問
② プラスチック製容器等収集の計画実施はモデル地区取り組みは
③ 「花いっぱい」のまちづくりの取り組みは



田中 一正 議員

認知症の人が地域で暮らし続けるための支援の在り方について。

地域の方々が認知症を理解し認知症の方やその家族を見守り支える共生の地域作りの推進が重要と感ずる。

認知症先進国では、認知症になっても症状が進行しないと聞く。一人暮らしでも周りのサポートを受け、暮らせるという見解は。

認知症の集いの場として運動や工作等の交流を行なっている。認知症サポーターやステップアップ受講者の方々が各地域平均に配置出来るような計画があれば認知症の方やご家族に対する支えが十分出来るか伺う。

本市認知症対策の強化を！

行政区域長や民生委員の方も受講されているのか伺う。

民生委員については実施している。行政区域長については地域の講座開催の時に呼びかけをして行きたい。

認知症保険に加入する自治体が増えていくが、加入についての考えを伺う。

県内の先進事例等を調査研究していく。認知症の方が行方不明になった時の捜索費用や不幸にもJR事故に遭ってしまった時の損害賠償の支払い等大きな負担が発生する。ご家族市民に対し安心感を与えることが政治の役割と考えるが見解を伺う。



認知症家族を支えるオレンジカフェがある朝日座

質問を終えて
南相馬市の高齢化率は35.5%、今後団塊の世代の高齢化が進む、早期の認知症対策が急務。

- ① その他の質問
② 障がいのある人のスポーツ大会への支援について
③ 移住定住政策の強化について



岡崎 義典 議員

平成30年12月議会において、医療保険の適用外である不妊治療への支援を提案した。「県や他市での取組を調査した中で、支援策を検討する」との答弁だったが検討結果を伺う。

不妊治療を継続するには、県の助成を受けてもなお経済的な負担が大きいことから、令和3年度に県の助成事業に上乘せする助成制度の実施を目指している。

負担軽減と同時にやらなければならないのが、仕事と不妊治療の両立のための環境づくり。平成29年度に厚生労働省が行った「不妊治療と仕事の両立に係る諸問題についての総合的調査」によれば、不妊治療と仕事を両立している人の中で、「両立が難しいと感じた人」

不妊治療への上乘せ助成を

療をしたことがある人の割合は87%。不妊治療の中で、「仕事との両立ができていない」という人が16%、女性だけに限れば23%という数字。さらに、行政に望む声として、「不妊治療への国民・企業の理解を深めること」が最も多い。市が積極的に取り組むことはもちろん、市民にも積極的に啓発して

いくことが大事なことでないか伺う。

質問を終えて
選挙の際に申し上げてきたことなので、実施は嬉しいが、検討に時間がかかり過ぎ。

- ① その他の質問
② 特定健康診査の受診率の向上策は
③ 消防団協力事業所に対する支援策は
④ ため池の統廃合について



平田 武 議員

市長公約の進捗状況について。

市長となり3年を経過され、公約した事業、中学生の海外研修、給付型奨学金の給付、30キロ圏外、市民への高速道路無料化、(仮)小高スマートインター、北長野、高平線の整備促進等、公約実現が見えてきていますが、どの様に評価されるのか伺う。

未来を描ける良い社会づくり

現時点で、おおむね順調に推移、長期的視点で、人口減少、施設の老朽化に対応。

公約以外の事業対応について伺う。

台風と大雨の被害、新型コロナウイルス感染症があり、災害に従事する職員の安全確保と市民の避難体制に務めて行く。

新型コロナウイルスに伴う、本市経済への影響について伺う。

質問を終えて
台風とその後大雨による水の恐怖。新型コロナの恐怖。市民の安全、安心が要求される。

- ① その他の質問
② 残任期間の対応について
③ 新型コロナウイルスによる市税への影響について
④ 廃校後の校舎、敷地の活用について



細田 廣 議員

稲作農業

再生支援を

岩妻茂手線の進捗状況

問 農業は我が市の基幹産業です。鹿島カントリーエレベーターは、今年秋の利用状況から判断して、処理能力の増強が必要と考えられます。農家の自助、共助だけでは解決できないと思う。公助の力での支援策を伺う。

答 処理能力の増強は混雑解消の一つの対策と考えられるが、JATとも協議し解決策を模索していきたい。

問 令和元年度の台風災害で作付不能水田がある。令和3年度は作付再開が出来るか伺う。

答 復旧対象地区50地区の内、作付に間に合わない地区が残ることも懸念される。早期復旧に向けて事業を進める。



計画が進む都市計画道路 岩妻茂手線

ものを中心での概算であり、予備調査に入る。

詐欺防止対策について

問 警報機付き電話録音機の無償貸出の取り組みの考えを伺う。

答 福島県警の事業として、市としても南相馬警察署と連携し、市民へ活用を促す。

質問を終えて
令和3年は、震災と原発事故被災から10年の節目の年。これからも確実な復興を願う。

その他の質問

- 1 牛島地区再開発に対する認識について
- 2 児童虐待防止条例の策定について
- 3 郵便局との包括連携協定について



渡部 寛一 議員

汚染土壌再生

利用は絶対ダメ

問 6月頃から小高区大富地区で汚染土壌再生利用の検討がされている。水田の表土の下に原発事故汚染土を盛りし、区画を大きくする再開発である。

農地が荒れることを心配し、善意での再生利用同意は理解するが、善意を逆手にとっての汚染土壌の再生利用で止めているか伺う。

答 大富行政区が環境省に飯館村の環境再生事業の説明を依頼し、また、環境省は大富で再生資源等の盛土の概念の説明があったことを確認している。

問 水田の地下ともなれば、国・環境省の手から完全に離れたところとなる。

答 100Bq/kg以上の物は厳重管理・保管とされていたが、原発事故後



大富の汚染土壌再生利用計画水田

質問を終えて
国民の命を守るべき環境省の方針に怒りを覚えます。

その他の質問

- 1 温暖化ガス排出の削減を求めて
- 2 役所電力調達を入札できめよ
- 3 安定ヨウ素剤の事前配備を急げ



鈴木 昌一 議員

ポストコロナ下の市立病院経営

問 現行の市立病院改革プランは、計画年度の最終年を迎えている。改革プランへの取り組みを自らのように評価しているか伺う。

答 3年連続で赤字決算となつては、医療収支、経常収支面では改善傾向にあり、病床稼働率も回復傾向にあった。しかし今年度は新型コロナウイルス感染症や整形外科等の常勤医不在による影響もあり、9月補正予算ベースで当期損失が約10億円となる見込みで、資金繰りが喫緊の課題となつている。

問 総務省からの新公立病院改革の発出を待たず、年度内に経営改善方針を策定することだが、人口動向や医療需要といった外部環境の変化を踏まえるべきではないのか伺う。

答 本来は外部要因を分析した上で経営課題を抽出するのがプロセスだが、まずは足元の資金繰りを安定させる取り組みを優先させることとした。

問 前年度末に一般会計からの繰出し基準の算定見直しを行なったが、市長は病院設置者としてこの際特別負担金というかたちで一般会計からの繰出しを行なう考えがないか伺う。

答 地域医療において公立病院が担う役割上一定の基準に基づく繰出しを行なうべきであるが、特別負担金となれば市民の負担増につながるわけで、市民の納得が前提となる。まずは市民に納得いただく説明が示せるかどうかである。



南相馬市立総合病院

質問を終えて
新たな改革プランの策定では、公立病院にこそ求められる機能の明確化が目的となる。

その他の質問

- 1 地域医療支援病院の指定への取り組みは
- 2 患者サービス・満足度向上への取り組み
- 3 コロナ禍における受診行動の変化は



栗村 文夫 議員

外国人が活躍出来る環境整備を

問 外国人活躍推進事業で取り組んでいる支援の状況について伺う。

答 令和2年度は、前期後期延べ60回の日本語学習講座を実施する。

問 「(仮称)外国人サポートセンター」の内容について伺う。

答 外国人への支援をワンストップで出来る体制で、「市内企業と外国人材とのマッチング支援」、「外国人が暮らしやすい生活支援」、「外国人材の受け入れ環境の支援」を行う、三つの柱を考えている。

問 「(仮称)外国人サポートセンター」の開始時期と設置場所について伺う。

答 令和3年度の早い時期に開始できるように検討している。場所は、外国人活躍推進協議会から「外国人が集



日本語学習講座の風景

質問を終えて
様々な対応がワンストップで出来る(仮称)外国人サポートセンターの開設に期待する。

その他の質問

- 1 「防災道の駅」の整備について
- 2 ドッグランの整備の考えについて
- 3 スケートボード場の整備の考えについて



渡部 一夫 議員

公共施設の最適化について

「南相馬市公共施設等総合管理計画」第5章、計画の推進方針（フォローアップ実施方針）、3、全庁的な取組・フォローアップの流れが記載されている。そこで情報管理、検討組織、意思決定の取組の推移について伺う。

施設の整備に当たっては、「公共施設等の機能・役割を見極め、必要なサービスの水準を保つための最良の方法を検討しながら、地域や市民のニーズを反映し進めていく」とあるが、どのように進めていこうとしているのか、考えを伺う。

南相馬市公共施設等総合管理計画を進めるには、施設ごとの方針を定める必要がある。現在、南相馬市公共施設再編個別計画の策定に取り組んでいる。策定に当たっては、各施設の情報を収集・整理し、庁内に設置した南相馬市公共施設等マネジメント推進委員会及び部会で計画の素案を検討している。今後、パブリックコメントに付した上で、年度内の完成を目指している。



上町児童館

に加え、利用団体の皆様の意見交換などを行いながら、施設の再配置、サービスの水準を保つ方法を検討している。

質問を終えて

私は、そのことが市民が求めている最大の点だろうと思うことから、十分意を体して取組を進めていただければと思う。

その他の質問

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 2 消費者安全確保地域協議会の設置について
- 3 飲食店等における支援策について



竹野 光雄 議員

介護職員確保策に向けて

市内の介護保険施設及び認知症対応型共同生活介護施設等について、計16施設で定員798人の受入れができる状態である。

しかし介護職員不足により入居が難しい状況である。特に待機者が多い特別養護老人ホームへの入居の対応についてどう進めるのか伺う。



特別養護老人ホーム 福寿園

今後高齢者の増加に伴い、待機者数も増加するものと捉えており、介護職員初任者研修講座や合同就職説明会を開催するなどして、介護スタッフの確保を図り、待機者の解消に努めていく。

介護人材の確保に向けて、外国人材の方々も対応して進めていくべきと考えられるが、どう対処して来たか伺う。

質問を終えて

新型コロナウイルス感染が、早く落ち着く事を強く願うものであります。

その他の質問

- 1 独居高齢者への対応について
- 2 市内事業者に対する支援について
- 3 老老介護状況への対応について

常任委員会閉会中調査

総務生活常任委員会

「市内避難所の状況調査について」

新型コロナウイルス感染症対応の避難所について、令和2年10月21日、鹿島体育館（農業集落改善センター）の改修が終わるまで、避難所用資機材倉庫（旧日立工機の倉庫を賃貸）の調査を行いました。

市では、避難者対応の資機材として、新たに段ボール製間仕切り（1千500個）、段ボール製ベッド、折り畳みベッド（各750個）を購入しました。9月には、職員による設営訓練が行われています。鹿島体育館では、実際に段ボールベッド1セット（2人分）の組み立てを行い、その状況を確認しました。その後移動し、資機材の格納状況について確認と説明を受けました。

文教福祉常任委員会

「健康福祉センター・原町生涯学習センター利用状況調査」

健康福祉センター（ゆらっと）は、老人を主体としながらも全世代利用センターとして、この4月に新装開所した。多目的ホール、集会施設や和室、トレーニング室、機能回復訓練室等に加え、最も利用が多い浴室を備えている。

入浴利用者には障がい者も多くなつてきており、その有効性をアピールすべきとの意見も出された。原町生涯学習センター（サンライフ）では、トレーニング機器更新に工夫をこらしていた。両施設ともコロナ感染症対策に苦慮しながらも、市民に利用しやすい運営に努力していることが伺えた。

建設経済常任委員会

「真野川鮭ふ化場の状況調査」

10月5日、真野川ふ化場及び周辺環境整備に関する状況調査を行いました。真野川ふ化場は平成2年に鹿島町が整備し、真野川鮭増殖組合に無償貸与されています。施設の老朽化や駐車スペースが十分でないことから、整備を求め陳情が議会に提出されました。（陳情は取り下げられました）

稚魚育成の施設として有用性は認めるものの、普通財産であることから市で整備することが妥当か審査を継続すべきとの判断に至りました。 ※普通財産とは、貸付・交換・売却・譲渡・出資の目的とすること、信託すること、私権を設定することができる公有財産。

9月定例会後から12月定例会までの議会活動について

令和2年 9月18日	議会改革検討特別委員会 (市役所4階 委員会室)
10月1日	広報特別委員会(市役所4階 委員会室)
10月5日	建設経済常任委員会閉会中調査活動 (市役所4階 議員控室)
10月6日	広報特別委員会(市役所4階 委員会室)
10月16日	議会改革検討特別委員会 (市役所4階 委員会室)
10月12日 14日	決算審査特別委員会 (市役所4階 議員控室 議場)
10月21日	総務生活常任委員会閉会中調査活動 (市役所4階 委員会室)
10月23日	議員研修会(市役所4階 議場)
10月27日	議会運営委員会(市役所4階 議員控室)
10月27日	東日本大震災・原子力災害復旧復興調査特別委員会調査活動 (市役所4階 議場)
10月27日	特別委員会調査活動 (市役所4階 議場)
10月27日	特別委員会調査活動 (市役所4階 議場)
10月27日	建設経済常任委員会閉会中調査活動 (市役所4階 議員控室)
10月27日	新庁舎建設特別委員会 (市役所4階 議員控室)
11月6日	議会改革検討特別委員会 (市役所4階 委員会室)
11月6日	議会改革検討特別委員会 (市役所4階 委員会室)
11月18日	議会改革検討特別委員会 (市役所4階 委員会室)
11月19日	議会全員協議会(市役所4階 議場)
11月19日	東日本大震災・原子力災害復旧復興調査特別委員会調査活動(市役所4階 議場)
11月19日	特別委員会調査活動(市役所4階 議場)
11月19日	特別委員会調査活動(市役所4階 議場)
11月19日	建設経済常任委員会閉会中調査活動 (市役所4階 議員控室)
11月19日	新庁舎建設特別委員会 (市役所4階 議員控室)
11月26日	議会運営委員会(市役所4階 議員控室)
11月30日	12月定例会 開会
12月16日	12月定例会 閉会